

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園久里浜ポピー	種別：認可保育所
代表者氏名：福島今日子	定員（利用人数）： 80名
所在地：神奈川県横須賀市久里浜4-12-23	
TEL：046-884-8240	ホームページ：like-kn.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2005年1月	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員 調理師 2名
専門職員	（専門職の名称）保育士 19名
	栄養士 2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室（6室） 多 目的室（1室） （設備等）事務所 調理室 調理前室 休憩室 更衣室 備品庫 シャワー室（2） 調乳室 木浴室 園児用トイレ（2か所） 職員トイレ（1） 調乳室専用トイレ 誰でもトイレ（身障対応） テラス（2階 1階2か所） 1階保育室床暖房 トイレ温便座

③理念・基本方針

- 1) 自然を愛し心身ともに健やかな子
- 2) 自分で考え行動し意欲と根気のある子
- 3) 仲間と関わり人を思いやれる子
- 4) 自己を表現できる子

④施設・事業所の特徴的な取組

3・4・5才児は各クラスの活動に加え合同や縦割りでの保育や乳児クラスとの交流も大切にしています。小さな子は大きな子を目標とし、いろんなことに挑戦するという向上心が芽生え、逆に大きな子は小さな子に対する思いやりができる家庭的な保育園です。お天気の良い日は毎日散歩。周辺には商店街があり、おじちゃん、おばちゃんが声をかけてくれ、人と人とのふれあいを感じます。自然にもたくさん恵まれていて生きた教材がいっぱい、地域が園庭のようにあっちこっちとでかけ、思いっきり遊んでいます。”やらせる”のではなく、子ども達が”やってみたくなる”環境を作り、子どもたちひとりひとりの心を大切に、成長を見守り、私たち保育士も共に成長していきたいと思っております。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 5月 16日（契約日） ～ 2023年 3月 30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2018年度）

⑥総評

◇特長

1) 子どもの生活と遊びを豊かにする保育

室内で子どもたちは運動能力向上が期待できる裸足で過ごしています。午前の保育では積極的に戸外活動に出かけています。目的に合わせて原っぱ、アスレチック、遊具のある公園など選んでいます。散歩途中や行き先の公園の植栽（樹木・草花など）や虫、空や雲の様子の違いなどから季節を感じ取ったりすることができます。長引くコロナ禍で中止としている場合もありますが、散歩時の積極的な挨拶、商店街行事（クリスマス・七夕）に子どもたちの作品を飾る、警察署、町内会館利用、スーパーマーケットや八百屋での買い物体験、米穀店で精米を見学させてもらうなど、開園から大切にしてきた地域との交流が続くようにしています。

2) 「食」へのこだわり

子どもの成長発達に不可欠な「食」にこだわり、給食・おやつは手作りです。出汁はコンブ、かつお節、煮干しから引き、素材の味を引きだすようにしています。野菜は信頼のできる地元の商店から購入しています。また、子どもたちの園生活の1日の流れの中で食事に入るまでの生活リズムを大切にしているほか、コロナ禍のため、クッキングの制限がありますが、切干し大根作りや魚の解体を見学したり、5歳児クラスのお泊り保育では夕飯のカレーを作ったりしています。カレーには栽培した夏野菜も使い、新しく稲作りにも取り組みました。子どもたちは楽しみながら「食」への興味関心を育てています。

3) 保護者との連携

保護者と、2歳児クラスまでは個別の連絡用アプリケーションで日々の子どもの様子や健康状態について丁寧なやりとりをしています。幼児クラスは個別の連絡帳で定期的（2、3日ごと）に子どもの様子を記入しています。口頭でのコミュニケーションも大切にし、何らかの困難があれば話やすい雰囲気づくりや信頼関係を築けるようにしています。行事の招待状や子どもの誕生日カードは職員の思いや温かみが伝わるよう、手間暇をかけた手作りにこだわっています。第三者評価の保護者アンケートは、大変満足60、9%、満足30、4%で高い総合満足度結果が出ています。

◇今後期待される点

1 中長期計画と事業計画のつながり

園として向こう3年間の見通しを立てた中長期計画を策定しています。書式は本部で設定した系列園共通のもので、大きく4項目に分けられています。そして毎年内容を見直し、常に3年間を見据えた運営をするような仕組みになっています。一方、単年度の事業計画も策定されていますが、内容は毎年度実施する項目が中心で、その年度の重点取り組みなどがわかりづらくなっていました。また、中長期計画とのつながりという点においては十分ではない部分もみられました。これら2つの計画につながりを持たせて、連続性のある計画と実践になることを期待します。

2 職員の計画的な採用と育成

開園して17年目を迎え、社会の流れや条例が変わっていく中でも、それに合わせていきながら、保育方針を一貫して行ってきました。その中で在籍期間の長い職員が多くいることは評価できる点です。しかし、昨今の保育園業界を取り巻く環境が変化してきており、若手の職員の確保が年々難しくなっています。また、周辺には新しい保育園も開園しており、園児獲得の競争も以前に比べると激しくなっています。現在は派遣職員の利用も増えてきています。このような中で、園を確実に継続していくための人材の確保は重要なテーマといえます。本部と連携し、計画的に取り組んでいくことを期待します。また、採用後の育成に関しても一人ひとりの意向に沿ったものとなることが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2005年に開園。本園は3回目の第三者評価受診となりました。
前回、受診を経験した保育士は数名おり、今回は経験のある保育士を中心に全職員で自己評価を実施することができました。1人ひとりが保育園の日々に関して振り返りを行うことで一層質の高い保育を行っていこうという意識が高まりました。また、自己評価項目についてはグループ討論を何度も重ね、職員間相互での保育の確認をしていくことで全職員が共通した認識もとで保育を実践していこうというチームワークづくりの良い機会となりました。
グループ討議では日々の保育の中でも丁寧に取り組み改善点があれば考えを実行し環境整備やあそびの提供の仕方（年令月齢にあわせた提供の仕方を考える）など見直すことができたと思います。その実行力に感心し、改めて力を感じました。より良い保育を目指す職員の意欲に、笑顔を大切に「陽だまりのような温かい保育園」づくりを目指し、子どもたちと共に輝いていけるよう努力して参りたいと思います。
保護者の皆様には、いつも変わらず温かいまなざしで子どもたち成長を守って頂きそして保育運営に対するご理解ご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。昨今はコロナ感染症拡大防止対策で活動や行事が制限された中でも取り組みにはご理解頂き、また暖かいお声をかけてくださることにたくさんの力を頂きました。また、この度の第三者評価受診にあたり、お忙しい中、アンケートにご協力を頂きありがとうございました。
最後になりましたが評価機関である「ミライ・シア」の審査員の皆様には細やかに保育をみて評価して頂きましたこと心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり